

2008 (平成20) 年度 「経友会講座 国際経済論特殊講義2」始まる

話題企業コマツの坂根会長を皮切りに、江崎グリコ、近畿車両など業種もますます多様になってきている。大阪の中堅工場から自転車製造販売で東証上場企業にのぼりつめた(株)あさひも登場。

今回の講師陣で医学部と生活科学部を除く全学部出身者が講師として母校に!いよいよ全学規模の講座として定着してきている。

平成20年度 大阪市立大学公開授業

経済学部 企画講座(経友会講座)

国際経済論特殊講義2

担当 経済学部 佐々木 信彰教授

実施期間：平成20年10月2日(木)
 ～平成21年1月22日(木)

講義時間：午後4時20分～午後5時50分

会場：田中記念館大会議場
 (履修状況によっては教室変更あり)



【講義内容】

今年で4回目を迎える本学部の公開企画講座。本年度は「企業の海外事業展開」、「企業の国際戦略」をキーワードとして、各産業分野の現状分析、将来展望を中心に講義を行う。講師は、各企業で活躍中の国際経済・国際ビジネスの第一線に携わる本学卒業生を母校に招き、現場の生の声を受講生に提供する。

| 日程 | 内 容 | 担 当 者 |
|--------|---|--|
| 10月 2日 | コマツの経営構造改革 ー強みを磨き、弱みを改革ー | 坂根 正弘(工38卒) 株式会社小松製作所 代表取締役会長 |
| 9日 | 高騰する資源 ー国際資源循環/中国の循環経済ー | 平田 郁之(理39卒) グリーンラボ代表 元三菱電機㈱ |
| 16日 | 新・国家エネルギー戦略(新戦略)におけるわが国のエネルギー多様化と中国のエネルギー動向について | 三木田裕彦(経56卒) 岩谷産業㈱ 総合エネルギー事業統括室 海外事業担当・新エネルギー担当部長 |
| 23日 | 鉄道車両事業の海外展開 | 矢辺 幸平(経45卒) 近畿車輛㈱ 常務取締役 経営管理室長 |
| 11月 6日 | クボタの海外事業って何をやってんのかな? | 清水 孝司(商53卒) ㈱クボタ 阪神工場長 |
| 13日 | 町の自転車屋から世界企業へ | 下田 富昭(経41卒) ㈱あさひ 元取締役会長 |
| 20日 | 塗料業界の現状と課題 ーグローバル化の進展と環境への対応ー | 三村 昭(法54卒) 日本ペイント㈱ 人事部長 |
| 12月 4日 | 国際物流の発展と情報通信技術(ICT) ーフォワードからの視点を中心にー | 周 人英(経院平14卒) 三統㈱ 情報システム室室長 |
| 11日 | ロングセラーブランド政策 | 細川 隆夫(法52卒) 江崎グリコ㈱ 執行役員 菓子企画開発部長 |
| 18日 | コンサルティングビジネスから見た企業の国際化戦略=弊社業務を通じて | 宮本 市三(経53卒) インテリオンLLP 共同代表 元山一証券㈱ |
| 1月 8日 | 化学品商社におけるビジネスモデルについて | 河合 志郎(経51卒) 交洋貿易㈱ 総務部次長 |
| 15日 | グローバル時代を生き抜く“地方都市大阪”の戦略と展望 | 中野 亮一(法60卒) 大阪商工会議所 地域振興部課長 元国際部 |
| 22日 | 北欧の世界を読む ー日本との対比に於いて北欧の経済と社会保障制度は?ー | 高田 雄司(経院平9) 福山大学経済学部教授 元松下電器㈱ |

(注) 講師および内容・日時は変更する場合があります。

平成19(2007)年度

経済学部卒業生就職戦線 好調さらに加速か?

平成20年3月卒業の経済学部生の就職状況(経済学部事務局まとめ)は、昨年度に比べるとさらに届出就職者数が増加し、昨年の企業業績の好調ぶりを反映している結果となった。業種別就職先一覧は以下の通り。

製造・運輸業は昨年度の約11%増えて40名、金融・証券・保険などが約11%増えて51名、小売・卸売が1名増の9名、サービス・情報通信・その他が約68%増の37名となり、各分野とも伸びているが、とくに情報通信系の伸びが目立っている。また公務員では、国家公務員が減少し、地方公務員の増加が大きい。

2007(平成19)年度 経済学部卒業生 就職先一覧

| 分類 | 就職先企業名等 | 人数 | 分類 | 就職先企業名等 | 人数 | 分類 | 就職先企業名等 | 人数 |
|-------|----------------|----|-------|--------------------|----|--------|----------------------------|-----|
| 建設 | (株)きんでん | 1 | 金融 | (株)京都銀行 | 2 | サービス | 税理士法人FP総合研究所 | 1 |
| " | 丸井産業(株) | 1 | " | (株)泉州銀行 | 5 | | (株)日立システムバリュー | 1 |
| " | 三井ホーム(株) | 1 | " | (株)南都銀行 | 2 | | 東京コンピュータサービス(株) | 1 |
| 食品 | (株)カネカ | 1 | " | (株)滋賀銀行 | 2 | " | (株)日本システムディベロップメント | 1 |
| " | 明治乳業(株) | 1 | " | (株)池田銀行 | 1 | " | フレンド21(ブライダル) | 1 |
| 繊維 | グンゼ(株) | 1 | " | (株)関西アーバン銀行 | 1 | " | 山田ビジネスコンサルティング(株) | 1 |
| 化学 | アストラゼネカ(株) | 1 | " | (株)中国銀行 | 1 | " | | |
| " | 小林製薬(株) | 1 | " | (株)三井住友銀行 | 2 | " | | |
| " | ダイソー(株) | 1 | " | (株)三菱東京UFJ銀行 | 4 | " | | |
| " | 日本メナード化粧品(株) | 1 | " | 大阪信用金庫 | 1 | " | | |
| 運輸 | 京阪電気鉄道(株) | 1 | " | 金沢信用金庫 | 1 | " | (株)リクルートスタッフィング | 1 |
| " | (株)サカイ引越センター | 1 | " | 中央三井トラストホールディング(株) | 1 | 情報通信 | エヌ・ティ・ティ・システム開発(株) | 1 |
| " | 深土川航空有限責任会社 | 1 | " | (株)みずほフィナンシャルグループ | 4 | " | (株)ケイ・オブティコム | 1 |
| " | 全日本空輸(株) | 1 | " | 中小企業金融公庫 | 2 | " | (株)ジュピターテレコム | 1 |
| " | 西日本旅客鉄道(株) | 1 | " | 国民生活金融公庫 | 1 | " | 新日石インフォテック(株) | 1 |
| " | 阪神電気鉄道(株) | 2 | " | 三井住友カード(株) | 2 | " | イーアクセス(株) | 1 |
| 電気・ガス | 関西電力(株) | 1 | " | (株)アルフィックス | 1 | " | (株)日立システムアンドサービス | 3 |
| 電気機械 | NECエレクトロニクス(株) | 1 | " | 大和証券(株) | 2 | " | (株)富士通関西システムズ | 1 |
| " | 神鋼電機(株) | 1 | 証券・先物 | 新光証券(株) | 1 | 郵便業 | 郵便事業(株) | 1 |
| " | 星和電機(株) | 1 | " | 日興コーポリアル証券(株) | 1 | 出版・印刷 | (株)新潮社 | 1 |
| " | (株)東芝 | 1 | 保険 | (株)損保ジャパン | 1 | " | 凸版印刷(株) | 1 |
| " | TOWA(株) | 1 | " | 日本生命保険相互会社 | 5 | " | トッパングラフィックスコミュニケーションズ関西(株) | 1 |
| " | 古野電気(株) | 2 | " | 住友生命保険相互会社 | 4 | " | | |
| " | 松下電器産業(株) | 1 | " | 明治安田生命保険相互会社 | 1 | その他 | ラ・テール洋菓子店 | 1 |
| " | 松下電工(株) | 1 | " | 三井住友海上火災保険(株) | 1 | 企業小計 | | 21 |
| 一般機械 | (株)小松製作所 | 1 | " | ニッセイ同和損害保険(株) | 1 | 企業総合計 | | 137 |
| " | 大和製衡(株) | 1 | " | 富士火災海上保険(株) | 1 | | | |
| " | 三菱重工業(株) | 1 | " | 大和リビング(株) | 1 | 国家公務員 | 大阪国税局 | 4 |
| 精密機械 | オムロン(株) | 1 | 不動産 | (株)インテリジェンス | 2 | " | 神戸税関 | 1 |
| " | (株)堀場製作所 | 1 | サービス | (株)リクルート | 2 | " | 大阪地方裁判所 | 1 |
| 輸送用機械 | トヨタ自動車(株) | 3 | " | (株)リクルートエージェンツ | 1 | " | 国土交通省近畿地方整備局 | 1 |
| " | 本田技研工業(株) | 1 | " | オリックス(株) | 1 | 地方公務員 | 川崎市 | 1 |
| その他製造 | 京セラ(株) | 1 | " | (株)シンプレクス・テクノロジー | 1 | " | 神戸市 | 1 |
| " | 東洋シール工業(株) | 1 | " | (株)クイック | 1 | " | 京都府 | 1 |
| " | (株)ミズノ | 1 | " | (株)リード | 1 | " | 滋賀県 | 1 |
| " | レノゴー(株) | 1 | " | TIS(株) | 1 | " | 奈良県 | 1 |
| 卸売 | 伊藤忠商事(株) | 1 | " | (株)くらコーポレーション | 1 | " | 和歌山県 | 1 |
| " | エレコム(株) | 1 | " | (株)ヴァンキュラムジャパン(株) | 1 | " | 大阪府警 | 2 |
| " | JFE商事(株) | 1 | " | WDB(株)(人材派遣会社) | 1 | " | 宮崎県警 | 1 |
| " | 住友商事(株) | 1 | " | アビームコンサルティング(株) | 1 | " | 高知市 | 1 |
| " | 双日(株) | 1 | " | (株)ヨドバシカメラ | 1 | " | 西宮市 | 1 |
| " | (株)日立ハイテクノロジーズ | 1 | " | 鈴与シンワート(株) | 1 | " | 福山市 | 1 |
| " | ユニ・チャーム(株) | 1 | " | | | | | |
| " | イオン(株) | 1 | " | | | | | |
| 小売 | (株)ヨドバシカメラ | 1 | " | | | | | |
| 企業小計 | | 49 | 企業小計 | | 67 | 公務員総合計 | | 19 |

| | 人数 | % | 内女子 |
|---------|-----|-------|-----|
| 卒業者数 | 188 | | 45 |
| 就職者数合計 | 156 | 83.0% | 40 |
| 企業就職者数 | 137 | 72.9% | 34 |
| 公務員就職者数 | 19 | 10.1% | 6 |

第3回就活本音トークを開催

今年も、経友会講座講師の方をお招きして、就職への具体的なアドバイスや企業の実態、社会人としての心構えなどを講師の方々豊富な経験談を交えてお話いただくとともに、企業選びの考え方や面接での自己表現など学生のみなさんが聞きたいことを、本音で語り合う経済学部と経友会共催の「フリートークスタイルの就活フォーラム」。

開催要項は以下の通りです。

1. 日 時 平成20年10月21日(火) 17時15分受付開始
2. 場 所 経済学部棟 2階会議室
3. 講 師 田仲 勇一郎(経S46卒)
尾家産業株式会社 常務取締役 管理本部長 元第一勧業銀行
細川 隆夫(法S52卒)
江崎グリコ株式会社 執行役員 菓子企画開発部長
三村 昭(法S54卒)
日本ペイント株式会社 人事部長
4. 注意事項 (1)参加対象者は、できるだけ事前に申込みをして下さい。当日飛入り参加可
(2)受付後、18時までアンケート用紙に所要事項をご記入ください。
(3)飲み物と軽食を用意しております。
(4)このフォーラムの内容の一部を、第16号経友会ニュース来春発行予定に掲載します。
(5)当日筆記用具は必ず持参してください。
(6)講師の方に質問したい事項がはっきりしている場合は、アンケート用紙にご記入ください。

大阪市立大学経済学部 企画講座

現代保険論(日本生命提供講座)

担当 経済学部 佐々木 信彰教授

実施期間：平成20年10月1日(水)

～平成21年1月28日(水)

講義時間：午後4時20分～午後5時50分

教室：740教室

(法学部棟4階、履修状況によっては教室変更あり)

【講義内容】

生命保険の成り立ち、基礎知識や業界動向に始まり、海外のグローバル化と業界の今後の展望と損害保険についても広く講義を行う。講師は、日本生命保険とニッセイ同和損害保険から第一線で活躍されている方々の生の声を受講生に提供する。

| 日 程 | 内 容 | 担 当 者 |
|---------|---|---|
| 10月 1日 | 生命保険の概要 | 正殿 博章 日本生命保険相互会社 常務執行役員 近畿営業本部長 |
| 8日 | 生命保険の歴史-社会・経済の発展と生命保険- | 柴 幹雄 日本生命保険相互会社 新統合推進部担当部長 |
| 15日 | 生命保険のしくみと機能 (1)生命保険のしくみ | 柴 幹雄 日本生命保険相互会社 新統合推進部担当部長 |
| 22日 | 生命保険のしくみと機能 (2)生命保険契約の基本的枠組み | 正殿 博章 日本生命保険相互会社 常務執行役員 近畿営業本部長 |
| 11月 12日 | 生命保険のしくみと機能 (3)生命保険商品とその機能 | 柴 幹雄 日本生命保険相互会社 新統合推進部担当部長 |
| 19日 | 生命保険のしくみと機能 (4)社会保障と生命保険の役割 | 柴 幹雄 日本生命保険相互会社 新統合推進部担当部長 |
| 26日 | 生命保険会社の運営 (1)資産運用-長期貸付から市場運用- | 正殿 博章 日本生命保険相互会社 常務執行役員 近畿営業本部長 |
| 12月 3日 | 生命保険会社の運営 (2)生命保険の募集と営業チャネル | 柴 幹雄 日本生命保険相互会社 新統合推進部担当部長 |
| 10日 | 生命保険会社の運営 (3)欧米の生命保険事業の動向-グローバル化の進行- | 正殿 博章 日本生命保険相互会社 常務執行役員 近畿営業本部長 |
| 17日 | 生命保険会社の運営 (4)隣接業界の動き-簡保・JA共済を中心として- | 柴 幹雄 日本生命保険相互会社 新統合推進部担当部長 |
| 1月 14日 | 損害保険の概要としくみ | 森下 誠 ニッセイ同和損害保険株式会社 人事部人材マネジメントグループ長 |
| 21日 | 損害保険のアンダーライティング | 松本 邦夫 ニッセイ同和損害保険株式会社 リスクマネジメント業務部長 |
| 28日 | 生命保険を巡る課題と今後の展望 | 正殿 博章 日本生命保険相互会社 常務執行役員 近畿営業本部長 |

(注) 講師および内容・日時は変更する場合があります。

昨年度から東大に続く提供講座を母校で開講!

日本生命 近畿営業本部長 正殿常務執行役員を直撃インタビュー。



本学法学部 昭和50年卒の正殿氏を御堂筋の日生ビルに訪問しました。正殿氏は平成18年度の経友会講座の講師を務められた後、19年度から本学に企業提供講座「日生講座」を開設されるなど、大学の先生方からは得られない生きた経済社会の講義を提供されています。日生講座の主軸講師として、次世代をなう学生の教育について日頃から抱いておられる熱い思いや、大学運営のあり方について企業人の目を通してユーモアを交えながら穏やかな口調で語ってくれました。

平成19年度は、「生命保険論」で、履修届出者数883名(経・商・法・文の1部、2部学生)という記録的な人数にのぼり、教室の面でも講義運営上も課題を残したことは否めませんでした。そこで今年度は、損害保険概論を加えた「現代保険論」と題して、対象を3回生に絞って10月1日(水)から開講しています。(講義概要は3頁の別表を参照下さい)

少子化時代にあってこれからの大学のあり方、とくに早慶や立命など私学の動向をどのようにお考えですか？

近年、早稲田、慶応などから実業界にサテライトを開きたいので、場所も含めて協力をお願いしたいという申し出があります。またこのような有名大学は、関西では立命館、同志社を含めてそのブランド力を小学校・幼稚園というもっと若い世代にまで、広めていくという取り組みに乗り出しています。さらに社外運営機関として有名大学が国公立高校の運営を請け負うということもやっていて、ブランド力を浸透させています。大学運営をビジネス的な視点から見ても大変早期に手を打っておられるという印象を受けます。

たとえば、早稲田の学生は、首都圏の人たちで8割を占めていますが、首都圏の人たちだけを相手にしているのか、もっと全国、大都市圏からも早稲田で学ぶことを望む人たちをどう増やしていくか、という発想に立っています。来たい人は来ればよいという時代から、よりよい人をどう囲い込むかという時代になっているのです。

そうした意味で、わが母校の率直なご印象はいかがですか？

全国を相手にしている私立マンモス校とは、市大は立地や歴史の違いがあるでしょうが、また私立大学と国公立大学の運営というのも違うのかどうか、よく分かりませんが、市大へ行きたいという特徴的なものを何か社会に対してアピールしているかということ、1年間講義を持ちましたが、あまり感じることはないですね。これまで、国公立大学では、勉強する人はする人、しない人は放っておく、そんな収まり方をしているのではないのでしょうか。

企業もそうですが、かつて大学が一人の先生のパワーによって価値を高めていた時代から、大学としての学ぶシステムによって大学の価値が計られる時代になっています。早稲田・慶応に象徴されるように、そういう仕組みを作り、討議して、どういう先生を引っ張ってくるかということから、大学の発信力が問われていると思います。

市大が私学と対抗していくためにはどうすれば良いとお考えでしょうか？

団塊の世代の退職により、元気な60代、余裕のある高齢者軍団がまた勉強をしたくて、お金をかけて通信講座を受けたり、改めて大学で学んだりしています。学ぶというのは、自らお金をかけるから身につくもので、企業でも従業員にただでは研修を受けさせません。受講費補助はしますけどね…。

市大建学の趣旨から考えると、もっと市民対象の講座を拡充していくことがあっていいのではないかと。市民サービスと大学の社会貢献という面白い枠組みが出来るのではないかと。市大の市民・府民に対する人気度という面でも、価値ある講座でしっかり受講料をいただいでやればよいと思います。他の大学でも社会と大学をつなぐところをよく研究されているので、市大でもそんなワーキンググループを作って取り組まれてはみてはと思います。今はお金を出して学びたいという高齢者は沢山います。

市立大学の開かれた講座は、受講者からお金を取るべきです。企業のOB達は、いろいろな大学へ入りなおして勉強に行っています。マーケットは大きいと思います。

それと情報システムの活用が重要です。国と産業界、大学が一緒になって知の発信基地を作ろうと、霞ヶ関ナレッジスクエアを立ち上げました。文部科学省の外郭団体がやっていて衛星通信システムでこのスクエアから有名人が生みの講座を送り、北海道から沖縄まで大学でこれを受信して学生が聴講できます。東京に行かなくとも、各種の講座を聴くことができます。そこでは企業はどんな人材を求めているか、どんな働き方が求められるかといったこともやっていて、アクセスが膨大となっています。これからは衛星通信システムを教育に取り組むということも大事なことだと思います。

こうした情報システムを大学が取り入れる場合ですが、企業がある種の開発計画を立てているとき、企業に対してうちの大学でこんな実験をしませんかと、もちかける手があります。企業を呼び込んで自分の大学で実験をさせる、いわば商売をするということも可能です。

企業が何かのシーズを持っていると、学生をたくさん有する大学としてはうちの大学で実験をしませんかというビジネスが成り立つのです。(笑い) 国公立大学の経費がカットされ絞られてくるとき、こんなビジネスを考えることが必要となってくるのではないのでしょうか。

情報機器の活用面では、例えば、慶応大学藤沢キャンパスでは、学生がパソコンを持ち込んで授業を受けたり、先生が携帯電話を使って回答を示したり、また講義が理解できたかどうかをクイックレスポンスシステムを使ってその場ですぐ学生の理解度を把握するようなこともやっています。

大学の人気度は、いろんな面での“売り”でもあります。ガイドブックにそんな“売り”が組み込まれていることも人気度の背景にあると思います。

研究助成をいかに集めるかも大切ですね。企業から大学や研究機関の研究に対して社会貢献の意味で助成金を交付しています。例えば、当社の場合、日生財団から、環境問題、高齢化問題などの研究を対象に市大だけでも、この2年間だけを見てもこの種の研究に数百万円～1千万円を越す助成をしています。

いろいろな企業からもCSR(企業の社会的貢献)として大学・研究機関等へ研究助成金が出されていますので、大学としても先生がたが個々に申請するのではなく、この種の助成制度の情報を一元化して組織的に取り入れていくことが大事だと思います。

今の学生たちや母校への想いをお聞かせいただければ…!

私たちが在学した昭和40年代の学生たちは、先生も交えて政治・経済・社会に対する物の考え方というのをいろいろ話したり意見を求めたりしていました。市大というのは本当に貧乏学校でしたから、学生は奨学金をもらったりして、アルバイトというのはまさに学費と教科書を買うためでした。苦学生といえば聞こえはいいですけども、遊ぶための遊興費という発想はあまりなかったです。ぎりぎりの生活の学生が多かったの、ある種、ハングリーな部分を持っていました。

今は、全国共通ですが、少子化の時代で子供に対する投資度が高まっていて、かつ奥さんも働き、ダブルインカムで、より豊かな生活を求めておられます。裕福になるために働いて、その投下資金が子供に集中する。学生もまた遊んでいる、より豊かな学生生活をエンジョイするために。そうなってきて、やはり全体的にハングリーさが無くなって安定的な生活を送っているわけで、勉強する人はする、勉強しなくともぎりぎりの線で学生生活をエンジョイするという人たちが多くなっているでしょうね。

企業は最近、インターシップで早い時期から学生たちに就職内定者も含めて企業を見せ、現場を開放するなど、企業をよく理解してもらい取り組みを行っています。企業側としてもいい学生を早く採りたい思いがあるのですが、いろんな業種の人事担当者でよく言われることですが学生に求めるのは志だと。企業は、なぜこの会社を選んだか、会社で何をしたいのかという、熱気あふれる何かを、社会的に企業活動を通じて何をしたいのか—を求めています。

もちろん表と裏がありますが、市大の良さは自由な校風でしょうね。これは逆に言いますと個人的感想ですが、例えば早稲田の大隈重信翁とか慶応の福沢諭吉翁であるとか、ミッション系はミッション系、仏教系は仏教系で、会社で言えば社是、大学の場合その創立の理念がですね。大阪市立大学は庶民の町で生まれた大阪市の大学ですが、それがほとんど分らないのでは。

独立行政法人であっても大阪市の大学ですから、市民、市と市大との関係が見えてこない。

同志社であれ立命館であれ、設立した趣旨というのを徹底的に学生に説いたり、事あるごとに、情操というのか精神というのか、志というのか、それがありませんね。彼らは建学のいろいろなことを知っていて、その人たちの精神を受け継いで社会に出てからもいいことを言ってます。そういう志を大事にしたり、論議をしたり、またその人たちの本を読んだりしています。それがよいというわけではありませんが、その心が通っています。医者とは、法曹とは、経済人とは—という場合の人としての志、学問で言ったら原論に相当するそんな領域のところを大学教育ではどのように意識されてやっているかによって、4年間の学生生活の中でもかなり違ってくるのではないかと思います。私は学問の根底に流れる共通項、人間論みたいなものを大切にしたいと思っています。実業の世界に行けば行くほど、今回の食の安全の問題などのように、やはり金に走ってしまって、志のない経営者へと陥ってしまう…。

私は学生にも言ったのですが、これからの日本は資本主義社会ではあるのですが、「志本主義社会」にならないとよくならないと。

一人ひとりよく考えてほしいということを講義を通じてしています。建築家になるにしろ、医者になるにしろ、どの学部の人であれ、自分はどうあるべきか、この職業とか、この技術とか、この学問を通じて自分はどうありたいかということ—それが本当の資本主義社会を形作るのではないかと。そういうところをお手伝い出来たらいいという思いで講義をしまして、今年もこの話をさせていただきますが、意外と学生たちには共感をもって受け入れられているようです。こういう思想は大学教育の中でどの学部の学生にも通じる一つの考え方であると思います。私は今後もこんな語り部として語り続けたいと思っています。



5月24日 経友会常任幹事会を開催

第22回の常任幹事会が5月24日(土)大阪市文化交流センター小セミナー室で開かれました。前年度の事業報告・同会計決算が承認されたあと、平成20年度の事業計画・同会計予算が審議され、原案通り承認されました。この中で、経友会講座等の事業を長く継続していくために会員への寄金の呼びかけなどが議論されました。また来年に予定している60周年記念事業委員会の委員長に55周年記念事業のシンポジウム部会委員長を務められた龍口 篤夫氏(顧問)を選出しました。

〔報告案件〕

1. 平成19年度事業報告・並びに会計決算報告

(事業報告の概要)

○第3回経友会講座

昨年10月から13講座を開講。受講者は前年度を上回る750名、年々人気を高めていることが報告された。(詳細は3月発行の第14号に記載)

○第11回経友会総会

平成19年11月3日、ホームカミングディに合わせて開催されたこの総会では、記念講演に中村英樹准教授を招いて「ゲーム理論から見た経済の諸問題」を聴き、ゲストに大学院経済学研究科在籍の杉田菜穂さん(第23回吉徳ひな祭り俳句賞最優秀賞受賞者)を招いて、彼女の作品の紹介と俳句への取り組みなどの話を聞いた。

○経友会ニュースの発行

第13号、第14号 各3,000部発行 在学生にも配布。

○助成事業

●教員論文出版助成金交付

対象：中村 健吾教授

「社会思想史現代—古典から解くリアリティー」

●卒業式記念パーティ助成金交付

卒業式で高田会長が祝辞、田畑経済学部長から木村進前会長に感謝状。

○第2回就活“本音トーク”開催

12月14日夕、経済学部会議室に平成18年度の経友会講座講師を務められた藤井一彦氏(S50卒)、福田利夫氏(S52卒)、浅田利晴氏(S59卒)の出席を得て、学部3年生18人が参加。講師に就職先を決めた思いや動機、会社人として求められるものなど、率直な疑問、質問を投げかけ、講師の体験談を交え貴重な話を聴くなど、3時間に及ぶ学生と講師の懇談が交わされた。

(会計報告)

平成19年度一般会計、経友会講座特別会計あわせて収入・支出合計は9,507,837円で、前年度の繰越金7,982,422円を除く単年度の収入額は1,525,415円。これに対して単年度支出額は2,509,478円となり、その差984,063円は繰越金の取り崩しとなって、次年度への繰越金は6,998,359円となった。(資料 次頁参照)

2. 平成19年度会計監査報告 (省略)

3. 第3回経友会講座実施の概要 (省略 第14号に詳細記載)

(協議案件)

1. 平成20年度事業計画案並びに事業会計予算案について収入増の方策について努力することとして、原案通り承認

2. 第4回経友会講座実施計画について

平成20年10月2日～21年1月22日まで後期13講座を開催する計画を承認。

3. 第12回経友会総会について

次の計画を承認。

●開催日時：平成20年11月3日 午後

ホームカミングディに合わせて開催。

●開催場所：大学学術情報総合センター

●記念事業：記念講演

講師依頼の交渉は田畑先生にお願いする。

(後日、中村健吾教授「ドイツ観念論における人権の基礎付け」に決まる。)

●記念パーティ 出席者負担金¥3,000—で開催する。

4. 経友会ニュースの発行について

年2回(9月、翌2月)の発行を承認。

5. 経友会賞授賞候補者の推薦について

経友会役員・常任幹事に、受賞者にふさわしい候補者の推薦を依頼することとする。

6. 学部創設60周年記念事業について

委員長に龍口篤夫顧問を選出し、委員の人選については会長に一任することとする。



平成19年度会計決算報告
平成19年度 経友会一般会計決算書

(平成19年6月1日～平成20年5月31日)

| 収入の部 (円) | | | | |
|----------|-----------|-----------|---------|------------|
| 科目 | H19年度予算額 | 決算額 | 差額 | 前年度決算額 |
| 前期繰越金 | 7,982,422 | 7,982,422 | 0 | 8,410,280 |
| 会費収入 | 1,800,000 | 1,423,930 | 376,070 | 2,039,720 |
| 雑収入 | 90,000 | 97,600 | -7,600 | 185,416 |
| 受取利息等 | 300 | 3,885 | -3,585 | 4,993 |
| 当年度分収入合計 | 1,890,300 | 1,525,415 | 364,885 | 2,230,129 |
| 収入の部合計 | 9,872,722 | 9,507,837 | 364,885 | 12,870,538 |

| 支出の部 (円) | | | | |
|----------|-----------|-----------|---------|------------|
| 科目 | H19年度予算額 | 決算額 | 差額 | 前年度決算額 |
| 通信費 | 600,000 | 545,670 | 54,330 | 595,749 |
| 印刷費 | 290,000 | 325,370 | -35,370 | 237,890 |
| 消耗品費 | 55,000 | 46,517 | 8,483 | 57,144 |
| 人件費 | 510,000 | 406,000 | 104,000 | 506,000 |
| 会議費 | 20,000 | 17,381 | 2,619 | 10,503 |
| 協賛・助成費 | 551,000 | 350,400 | 200,600 | 630,600 |
| 講師等謝礼金 | 50,000 | 10,000 | 40,000 | 5,000 |
| 雑費 | 6,000 | 17,848 | -11,848 | 6,121 |
| 懇親会費 | 145,000 | 137,600 | 7,400 | 93,260 |
| 予備費 | 50,000 | 0 | 50,000 | 0 |
| 小計 | 2,277,000 | 1,856,786 | 420,214 | 2,142,267 |
| 特別会計繰出金 | 660,000 | 652,692 | 7,308 | 515,720 |
| 支出の部小計 | 2,937,000 | 2,509,478 | 427,522 | 2,657,987 |
| 次期繰越金 | 6,935,722 | 6,998,359 | | 7,982,422 |
| 支出の部合計 | 9,872,722 | 9,507,837 | 364,885 | 10,640,409 |

☆定期貯金(郵便局)5,000,000円 普通郵便貯金 1,873,088円
活動資金残額 125,271円(郵便貯金 116,232円 銀行預金 2,751円 手持ち現金 6,288円)

経友会会費納入実績の推移

| 項目 | H16年度 | H17年度 | H18年度 | H19年度 |
|-----------|------------|------------|------------|------------|
| 納入会員数 | 330 人 | 329 | 273 人 | 232 人 |
| (うち終身会員数) | [9] | [30] | [42] | [21] |
| 親和会人数 | 37 | [37]*1 | 36 | 33 |
| 納入金額合計 | 1,889,620円 | 1,797,170円 | 2,039,720円 | 1,423,930円 |

*1 親和会37人の会費は前年度に納入済み。
*2 平成19年度末の終身会員は249人。

平成20年度会計予算案
平成20年度 経友会一般会計予算(案)

| 収入の部 | | | | |
|-------|-----------|-----------|----------|-----------|
| 科目 | H20年度予算額 | 前年度予算額 | 増減額 | 前年度決算額 |
| 前期繰越金 | 6,998,359 | 7,982,422 | -984,063 | 7,982,422 |
| 会費収入 | 1,800,000 | 1,800,000 | 0 | 1,423,930 |
| 雑収入 | 90,000 | 90,000 | 0 | 97,600 |
| 受取利息等 | 3,000 | 300 | 2,700 | 3,885 |
| 合計 | 8,891,359 | 9,872,722 | -981,363 | 9,507,837 |

| 支出の部 | | | | |
|---------|-----------|-----------|----------|-----------|
| 科目 | H20年度予算額 | 前年度予算額 | 増減額 | 前年度決算額 |
| 通信費 | 640,000 | 600,000 | 40,000 | 545,670 |
| 印刷費 | 287,000 | 290,000 | -3,000 | 325,370 |
| 消耗品費 | 58,000 | 55,000 | 3,000 | 46,517 |
| 人件費 | 310,000 | 510,000 | -200,000 | 406,000 |
| 会議費 | 20,000 | 20,000 | 0 | 17,381 |
| 協賛・助成費 | 281,000 | 551,000 | -270,000 | 350,400 |
| 講師等謝礼金 | 50,000 | 50,000 | 0 | 10,000 |
| 雑費 | 10,000 | 6,000 | 4,000 | 17,848 |
| 懇親会費 | 150,000 | 145,000 | 5,000 | 137,600 |
| 予備費 | 20,000 | 50,000 | -30,000 | 0 |
| 小計 | 1,826,000 | 2,277,000 | -451,000 | 1,856,786 |
| 特別会計繰出金 | 602,000 | 660,000 | -58,000 | 652,692 |
| 合計 | 2,428,000 | 2,937,000 | -509,000 | 2,509,478 |
| 次期繰越金 | 6,463,359 | 6,935,722 | -472,363 | 6,998,359 |
| 支出の部合計 | 8,891,359 | 9,872,722 | -981,363 | 9,507,837 |

平成19年度 経友会講座特別会計決算書

| 科目 | 支出額 | 内訳 |
|------------|---------|---------------------------------|
| 通信費 | 6,500 | 講座担当委員 08年度講師予定者に資料送付代 @500×13通 |
| 10,000 | 1,070 | 講座担当委員 事務連絡通信費 |
| | 1,040 | 08年度講師予定者に礼状送付 |
| | 140 | 講座担当委員に名刺送付 |
| | 8,750 | |
| 消耗品費 | 1,260 | 講座担当委員名刺作成代@1, 260 |
| 12,000 | 12,472 | 写真材料費ほか |
| | 1,260 | 講座担当委員名刺作成代@1, 260 |
| | 14,992 | |
| 交通費・出張費 | 42,600 | 講師 旅費28,100円、宿泊費14,500円 |
| 173,000 | 42,600 | 講師 旅費28,100円、宿泊費14,500円 |
| | 42,600 | 講師 旅費28,100円、宿泊費14,500円 |
| | 42,600 | 講師 旅費28,100円、宿泊費14,500円 |
| | 35,660 | 講師 旅費21,160円、宿泊費14,500円 |
| | 25,740 | 講座担当委員 交通費(2名分、15,680 10,060) |
| | 231,800 | |
| 講師等謝礼金 | 260,000 | 講師謝礼@20,000円×13人 |
| 260,000 | 260,000 | |
| 講師等食事費 | 195,000 | (以下、講座終了後、講師・担当教授・担当委員夕食代 13回分) |
| | 10,000 | 10/4 講師と夕食会 |
| | 8,730 | 10/11 講師と " |
| | 15,860 | 10/18 講師と " |
| | 12,350 | 10/25 講師と " |
| | 7,490 | 11/8 講師と " |
| | 7,400 | 11/15 講師と " |
| | 12,000 | 11/22 講師と " |
| | 8,500 | 11/29 講師と " |
| | 12,820 | 12/6 講師と " |
| | 9,000 | 12/13 講師と " |
| | 7,000 | 12/20 講師と " |
| | 14,000 | 1/10 講師と " |
| | 12,000 | 1/17 講師と " |
| | 137,150 | |
| 雑費 | 10,000 | 0 |
| 合計 660,000 | 652,692 | 残額660,000-652,692=7,308 一般会計へ戻入 |

平成20年度 経友会講座特別会計支出予算(案)

| 科目 | 支出額 | 内訳 |
|------------|---------|------------------------------------|
| 通信費 | 7,000 | 講師に資料送付代 @500×13通 |
| 10,000 | 3,000 | 事務連絡通信費 |
| | 10,000 | |
| 消耗品費 | 4,000 | 講座担当委員名刺作成代@1,300×3 |
| 14,000 | 10,000 | 写真材料費ほか |
| | 14,000 | |
| 交通費・出張費 | 87,000 | 講師 旅費 28,100円+宿泊費 15,000円 2名分 |
| 113,000 | 26,000 | 講座担当委員 交通費(2名分) |
| | 113,000 | |
| 講師等謝礼金 | 260,000 | 講師謝礼@20,000円×13人 |
| 260,000 | 260,000 | |
| 講師等食事費 | 195,000 | 講座終了後、講師・担当教授・担当委員夕食代 @15,000×13回分 |
| 195,000 | 195,000 | |
| 雑費 | 10,000 | |
| 10,000 | 10,000 | |
| 合計 602,000 | 602,000 | |



頑張る若者たち!! グループ チョボラ

学内の1,2回生で結成されたボランティアグループ チョボラ(Cho Vola)一代表者 中嶋 弓子さん(経2回生)は、学内をはじめ地域社会に出かけて清掃活動を行うなど地球環境の保全を訴える活動を続けている。

グループは今年に入ってから、大和川周辺地域や、堺市の大泉緑地公園などで清掃活動を行ったほか、8月の夏休みを利用してメンバー12名(女子7名、男子5名)で19日~21日の3日間、琵琶湖まで遠征して近江八幡西の湖、彦根市八坂町、高月町片山、西浅井町大浦、野洲市マイアミ浜キャンプ場の6ヶ所で水質調査と清掃活動を行うなどキャンペーンを繰り広げた。

琵琶湖の水辺や湖畔地域がゴミで汚染されていると聞いて、炎暑にもめげず清掃活動に出かけたとのことであるが、実際に現地に入ってそこかしこに散乱、野積みされている大量のゴミを見て、遊泳やピクニックに訪れるグループのマナーについて考えさせられたという。参加した一人は、ゴミを一時的に清掃してもまた繰り返しゴミを捨てられかもしれないが、この活動が一人でも多くの共鳴を呼ぶことによって琵琶湖の美しい環境が守られるようになるんだと、感想を寄せている。

この若者たちの活動は、さらに地域の住民や他のボランティアグループなどと連携して活動の輪を広げ、広く社会の環境保全の関する意識向上につなげていくことが期待される。今後の課題となるであろう。ずっと長く見守って行きたい。



香林坊雑感

第5回

～「コンプライアンス再考」～

皆さんこんにちは。香林坊でございます。少しご無沙汰しておりましたが、本日も少しお時間を拝借致します。

【卑近な話ですが…】

どちらでお仕事をなさってる皆様も多かれ少なかれ、似たような状況にあると思いますが、小生の職場でも「コンプライアンス(法令遵守)」ということが、ここ2、3年で一層意識されるようになりました。

卑近な例を申しますと、いわゆる「サービス残業」が良い例です。当然のこととは言え、従来、ややもすれば曖昧な部分が許容されていた労働時間が、最近では、より厳格に管理されるようになりました。

もっとも、成果主義の導入もあってか仕事量は増加傾向、しかるに総人件費は抑制せねばならない中、おいそれと残業は増やせません。とある業界誌では、「現場は“仕事量増加”“人件費抑制”“労働時間管理の厳格化”の三重苦」と表現していましたし、小生自身も「どないせい言うねん!」と思わずボヤキたくなります。

—— 因みに、我慢出来ずに上司に文句を申ししても、たいてい「無駄を省け!生産性を上げろ!プレクスルーだ!」との号令がこだまのように返ってきます…はい、ごもっともです(苦笑)。

【そういえば…】

2007年度に施行された「改正建築基準法」や「金融商品取引法」も、実際にビジネスとして関与しておられる皆さんにとっては、上述の話同様、「どないせい言うねん!」とお感じなのではないでしょうか?

もちろん、私自身、「耐震強度偽装住宅」に住みたいとは思いませんし、十分な説明も受けずに仕組みの理解出来ない投信や年金保険を買いたいとも思いません。しかし、(所詮後知恵なのですが)「改正建築基準法」、「ゴメンナサイ、予定通り出来ません」と、もう少し準備整ってから施行しても良かったんちゃうの?とか「金融商品取引法」、「金融庁の処分がコワイ」と萎縮して金融機関と、もう少し事前にすり合わせる余地があったんじゃないの?などと思ってしまう。

すなわち、「コンプライアンス」は大事だけれども、もう少し、「いや、そうは言うけど、実際はね…」という「本音の意見」を大切にしても良いんじゃないか、と思うのです。

【むすびに代えて】

どうしてこう上手くいかないのでしょうか?正直よく分かりません。おまけに、「改正建築基準法」や「金融商品取引法」に至っては、世界的な素材価格の上昇や景気減速とも重なるという、イヤなタイミングとなりました。

願わくば、世の中がもう少し住み良くなるように、そして、今回の景気減速が短期間で終わるように祈りつつ、香林坊雑感(第5回)を終えたいと思います。またどこかでお目にかかりましょう。

(香林坊)

—— 編集委員会からのお知らせ ——

<第14号の訂正とお詫び>

前号の7頁の新役員一覧の中で、監事に就任されました渡邊尚年氏(S42卒、前職:常任幹事)の記載が欠落しておりました。ここに深くお詫び致しますとともに、会員の皆様のご理解をお願い申し上げます。

また、同頁の俳句とともに学ぶ若き院生杉田菜穂さんの講演内容記事の中で、最後の俳句「凍て星や いづれ師恩に 応えんと」とありますのは、「応へむと」の誤りでした。ここに深くお詫び致しますとともに、訂正させていただきます。

<お知らせ>

経友会では、来年度経済学部創立60周年を迎えるにあたり、会員の皆様のご意見を伺ってまいります。今後の母校の発展に資するために、また卒業生がより充実した人生を過ごすためにも、経友会、経済学部、大学がどうあるべきか皆様の忌憚のないご意見をお寄せ願います。なお経済学部ホームページに経友会のコーナーが新設されておりますので、ご高覧下さい。

編集後記

「富山・おわら風の盆を初見物。女性の艶めいた踊りと八尾の夜景に感動。」(香林坊)

国威発揚の絶好の場となった壮大而華麗な北京オリンピックは終わった。北京の都市インフラ整備は格段に進展したが、まだまだ国内の大気汚染や水汚染、食の安全の問題、交通問題、そして都市と農村の経済格差の問題、民族問題等々いろいろの社会問題を内包しながら進む中国。13億の人々が暮らす巨大なこの国の展望はいかに。ただただ平和で順調な航海を願うのみ。(堺衆)

世界中に何やら不穏な空気が流れています。元は私たち人間がまた種とはいえ、だんだん手に負えない怪獣のように成長してしまったような錯覚すら感じてしまいます。自然の摂理を思い起こし、この大地に話かけてみるべき時がきたのかも…。(浪速のベンチャー男)

日生講座の第1回講義を受講した。正殿常務の講義は具体的な数字を示して明快だった。このような素晴らしい講義を聴ける市大の学生は幸せだ。(周)